

# 健康長寿なまちへ…

高齢化が進むなか、介護サービスの利用が増えています。

健康長寿課（すこやか） ☎87 - 0888



竹内富美子健康長寿課長

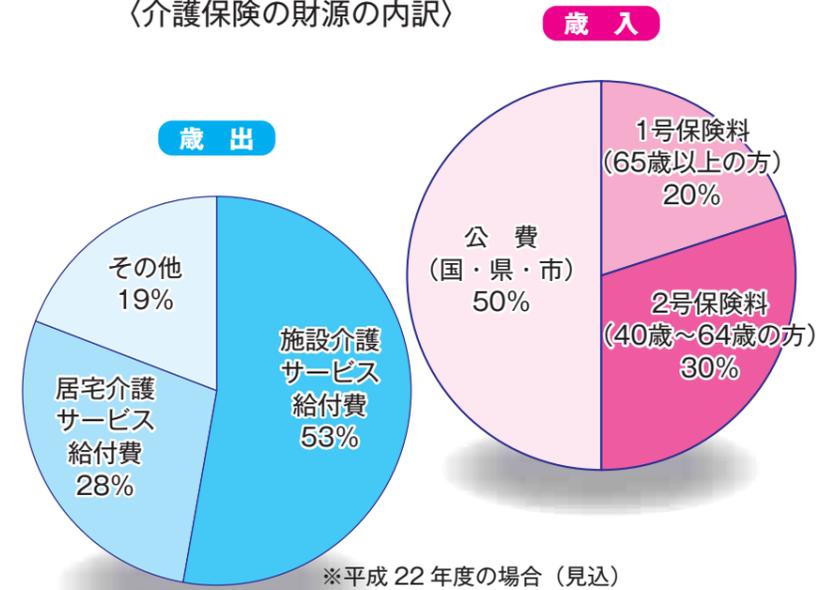
日頃から健康づくりを心がけて

市では、これからも高齢者が安心して暮らせるために、在宅福祉サービスや介護サービス体制などのより一層の充実を図り、「健康長寿なまち」を目指していきます。

市民の皆さまには、介護に頼った生活を送らなくてもいいように、日頃からご自分の健康づくりに心がけていただきたいと思います。



〈介護保険の財源の内訳〉



財源は  
保険料と公費

介護保険事業は、市の一般会計とは別に運営され、介護サービスにかかる経費は保険料と公費で50%ずつ賄われています。

介護保険の財源の内訳は、1号保険料（65歳以上の方の

保険料）が20%、2号保険料（40歳～64歳の方の保険料）が30%、公費（国庫負担など）が50%となっています。

これらの財源は、介護保険施設などに入居している方が受けるサービス費用や、デイサービスなどにかかるサービス費用などに使われています。

なお、介護従事者の処遇改善のための介護報酬改定

## もしものときに

緊急時に医療情報を迅速に伝えるための「救急医療情報キット」を、主に見守りが必要と思われる独居老人世帯（日中独居含む）や高齢者のみの世帯に配布しています。

常備薬やかかりつけ医などを記入して、冷蔵庫内に保管しておきましょう。



※キットの冷蔵庫保管は、全国共通の方法です

「65歳以上のみの世帯」は、

回答数 1144  
回答率 76.6%

**介護保険に関するアンケート調査を実施**

今年の2月に、第5期介護保険事業計画の策定に向けた基礎情報集めとして、市内65歳以上のかたから無作為に抽出し、アンケート調査を行いました。

ここでは、その調査結果の一部をご紹介します。

19.8%、「一人暮らし世帯」は11.9%となっています。

要支援・要介護認定者において、介護・介助が必要となった原因で最も多かったのが「高齢による衰弱」で、次いで「認知症」「脳卒中」でした。

日ごろ健康について心配しているかたが半数以上いる中で、「特になし」との回答が14.2%ありました。

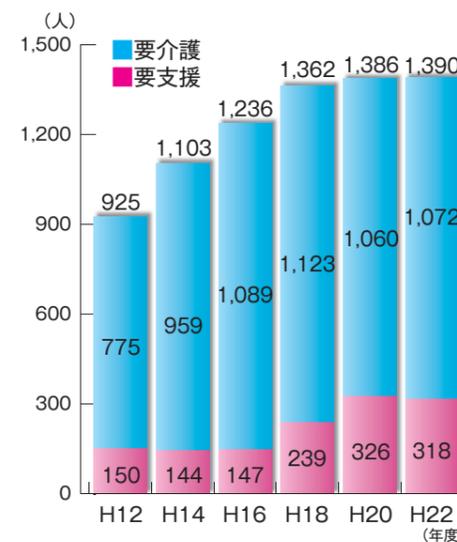
市が行う高齢者健康福祉施策では、一人暮らし高齢者への支援や在宅介護保険サービスの充実、健康づくりなどを望む声が多くなりました。

保険料の納付は  
忘れずに

介護サービスを利用した際、通常は費用の1割負担ですが、保険料を滞納している場合、その期間に応じて給付費に制限がかかります。安心してサービスが受けられるよう、保険料は忘れずに納めましょう。

災害や失業など、やむを得ず保険料を納められない場合、猶予や減免される場合がありますので、健康長寿課ま

表1：要介護認定者の推移



介護保険制度が開始された平成12年度から要介護認定者は年々増え続けています。平成22年度の勝山市の要介護認定者は1390人で、平成12年度の約1.5倍となっています。（表1参照）

そして要介護認定者の増加に伴い、介護給付費（介護サービスにかかる費用）も増大しています。平成22年度の介護給付費は、平成12年度の約1.7倍の23億円余り（見込）となっています。（表2参照）

年々増加する  
介護給付費

でご相談ください。